

茨城県沿岸で漁獲される重要魚種の資源状況について

水産試験場では、本県沖で漁獲される主要25魚種について、生態的特徴や資源動向をまとめた「生態と資源」をホームページで公開しています。それぞれの魚種の資源の水準と動向の評価は、漁獲量や漁獲状況（1日1隻当たりの漁獲量）、水産試験場による調査結果等の指標を用い、茨城県を含む広い海域を回遊する魚種は国の資源評価書をもとにしています。今回、評価の材料に平成29年1月から平成30年8月までの資料を加え、資源の水準・動向を下表のように再評価しました（今回の評価が前回の評価と変わったものは色掛けしました）。

回遊性資源 9 魚種

魚種名	H29評価		今回の評価	
	水準	動向	水準	動向
マイワシ	高位	増加	高位	増加
マサバ	高位	増加	高位	増加
カツオ	高位	-	高位	-
サンマ	中位	減少	中位	減少
シラス	中位	減少	高位	横ばい
イカナゴ	低位	減少	低位	減少
イシカワシラウオ	低位	減少	中位	増加
カタクチイワシ	低位	減少	低位	横ばい
サヨリ	低位	減少	低位	横ばい

【資源の水準】

資源の水準は、指標とする値の評価期間中の最高値と最低値の範囲を4分割し、上から1/4を高位、下1/4を低位、その間を中位と評価しています。高位と評価された魚種はマイワシ、マサバ、カツオ、シラス、ヤナギムシガレイ、ムシガレイ、アオメエソ、キアンコウ、ユメカサゴの9魚種です。中位はサンマ、イシカワシラウオ、ヒラメ、ヤリイカ等10魚種、低位はイカナゴ、カタクチイワシ、チョウセンハマグリ、マコガレイ等6魚種でした。資源水準が上がったものは5魚種、下がったものは1魚種でした。

定着性資源 16 魚種

ヤナギムシガレイ	高位	増加	高位	増加
ムシガレイ	高位	増加	高位	増加
アオメエソ	高位	増加	高位	増加
ヒラメ	高位	横ばい	中位	減少
シライトマキバイ	中位	増加	中位	横ばい
キアンコウ	中位	横ばい	高位	増加
ウバガイ	中位	横ばい	中位	横ばい
マガレイ	中位	減少	中位	減少
イシガレイ	中位	減少	中位	減少
ユメカサゴ	中位	減少	高位	横ばい
ヤリイカ	中位	減少	中位	減少
マダコ	中位	-	中位	-
チョウセンハマグリ	低位	横ばい	低位	増加
ヤナギダコ	低位	減少	中位	横ばい
マコガレイ	低位	減少	低位	横ばい
エゾアワビ	低位	減少	低位	横ばい

【資源の動向】

資源の動向は、各魚種で指標とする値の直近5か年の傾向から、増加、横ばい、減少を判断しています。資源の動向が上向いた魚種は、シラス、キアンコウ、チョウセンハマグリ等10魚種、下向きとなった魚種は、ヒラメ、シライトマキバイの2魚種でした。

今回の再評価では、全体的には前回の評価よりも水準が上がり、上向き傾向の魚種が増えました。マイワシ、マサバ、ヤナギムシガレイ、ムシガレイ、アオメエソは資源が高位で増加傾向が継続しています。一方、資源が低位で減少傾向が継続している魚種は今後の漁獲量も低調となるものと考えられます。

詳細は水産試験場のホームページに掲載している「茨城県産重要魚種の生態と資源」をご覧ください。

<http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/suishi/index.html>

【次回予告】 H30.11.13 発行の「水産の窓」は「11月の海況と今後の予測」を予定しています。

「生態と資源」へのQRコード

